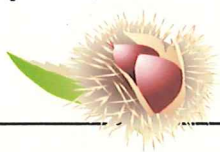


布佐中学校だより 10月号

我孫子市立布佐中学校 令和2年10月1日発行
我孫子市布佐1301 ☎04-7189-2426 fax04-7189-2421



学習の秋・・・自身の強み・弱みを知り、伸ばすためにすべきことを考える・・・

校長 小林浩之

本校の学校教育目標は「自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成」です。来年度から新しい学習指導要領のもとでの授業が始まり、教科書も新しくなります。新しい学習指導要領では、育成すべき資質・能力の柱として

①どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか【学びに向かう力・人間性等】

②何を理解しているか、何ができるか?【知識・技能】

③理解していること・できることをどう使うか【思考力・判断力・表現力等】の3つがあげられます。

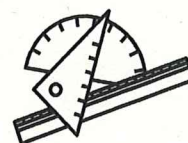
教員が「何を教えるか」だけではなく、学習する側の生徒の視点に立つことが必要で、「何ができるようになるのか」という観点で、育成を目指す資質・能力を整理し、それを育成するために子どもたちは「何を学ぶか」、その学習(指導)内容を検討する必要があります。

そして、さらにその内容を「どのように学ぶか」という観点から、「子どもたち一人ひとりの学習をどのように具体的に支援するか」ということを大切にします。「何が身に付いたか」ということを「評価」として見取り、「実施するために何が必要か」を併せて検討する必要があるということになります。そのために、「主体的・対話的で深い学び」や学校全体で教育課程をどう編制し、教科同士のつながりや教科横断的な視点、地域の教育力を活用し支援に活かした学習活動の充実を図るためのカリキュラム・マネジメントの重要性も指摘されています。「自ら学び、ともにによりよく生きる」ことのできる力を更に育成できるよう努力していきたいと思えます。

さて、そのような状況の中で、今年度の標準学力調査の結果が出ました。学校としても、布佐中生の強み、弱みはどこにあるのかを明確にして具体的に対策を実行していくことが大切だと思います。もちろん、一人ひとりの生徒が自分の強みや弱みを知って、自らどのようなことをどのように取り組んでいくかを考え、実行することが重要ですが、学校としても、一人ひとりの生徒への支援をどのように具体的にを行うのかを考えたいと思えます。

【1.2年生の国語・社会・数学・理科、2.3年生の英語の問題別正答率結と全国平均との比較】

- ・国語・・・<強み> 12年「作文」(書くこと) 2年「文法・語句に関する知識」
<弱み> 1年「漢字を書く」 2年「説明文の内容を読み取る」
- ・社会・・・<強み>1年「安土桃山時代～江戸時代」2年「古墳時代まで」
<弱み>1年「日本国憲法」2年「地球の姿をとらえる」
- ・数学・・・<強み>1年「整数の性質」2年「文字式」
<弱み>1年「面積と体積」2年「1次方程式」
- ・理科・・・<弱み>1年「生物と環境」2年「気体の性質」
- ・英語・・・<強み>2年「リスニング(内容理解)」
<弱み>2年「単語の並べ替えによる英作文」3年「語彙の知識と理解」



※【各教科担当から・・・これからの授業等で力を入れていきたい取り組み】

○国語科から

「書くこと」に関しては、小学校との連携の中で特に力を入れているところで、小学校からの取り組みで成果が出ているところと思われます。これからも、授業だけでなく、様々な場面で自分で考えて「書く」ことができるような取り組みを続けていきたいと思えます。「聞く・話す」については、スピーチの授業をする時に、「聞く」「聴く」ということにも意識をむけるような取り組みに力を入れていきたいと思えます。

1年生については、語彙力(色々な言葉やその意味や使い方)を増やせるよう、語句調べや短文づくり、文法事項の繰り返しの練習、2年生は、文章を「読む」力をつけるために、文章の構成について考えたり、理論立てて文章の主旨をとらえることを授業の中で取り組んでいきたいと思えます。

○社会科から

特に、世の中で起きている出来事や世の中の動き、事件などへの関心が低いようです。基礎的な知識についてはある程度身に付いている生徒が多いですが、その活用については苦手な生徒が多いようです。授業中に基礎的な知識を活用した課題に触れる機会を増やしていきたいと思えます。また、世の中で起きている出来事などの社会的な事象への興味や関心、意欲を引き出せるような身近な問題を取り上げるような工夫をしていきたいと思えます。

○数学科から

立体などの図形に関しては、物の形のイメージを持つことが大切で、そこからどのような計算をすればよいのかを考える必要があると思えます。授業では、2分前学習など既に学習した問題の反復練習を続けていくことが必要だと思えます。

また、なぜこの計算で答えがでるのだろうかとか、なぜこの考え方をすると答えが出るのだろうかなどを問いかけ、そういうことを考えることを大切にして、自分の頭で考えて説明できる力を伸ばす取り組みを行っていきたいと思えます。

○理科から

理科の用語、言葉の意味や使い方などの知識をしっかりと身に付けて、問題文の意味をていねいに読み取ることができるような力をさらに身に付けられるようにしたいです。。1年生については、化学実験などの経験を積んでいくことをしていきたい。語句の意味や使い方などについても、さらに理解を深めたり広げたりできるような取り組みが必要で、文章問題などにも慣れるよう繰り返し問題にも取り組んでいきたいと思えます。

○英語科から

単語や文を「書く」活動をもう少し多く取り入れていく必要があるように思われます。。家庭学習も含めて、書く分量についても個人差が大きいと思われるので個別にも声をかけていきたいと思えます。「書く」活動については、習慣となるよう繰り返し行い、音と文字のつながりを意識した活動を多く取り入れていきたいです。23年生についても、授業での学習内容の基礎問題などは反復練習を行い、小テストなどをこまめに行うことで到達度を確認しながら授業を進めていく必要があると思えます。ALTのネイティブな発音や音声に触れることで英語学習に対しての抵抗感を少しでも軽くできるような工夫もしていきたいと思えます。

○体育祭<10/16(金)>・・・感染症予防に注意しながら、最高の行事にしたいという思い・・・

保護者の皆様におかれましては既にお知らせしておりますが、今年度の体育祭は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、10月16日(金)に延期し実施します。内容についても、感染症拡大予防に配慮し、午前のみとして内容も変更や縮小をいたします。応援についても例年通りには実施できませんが、3年生の団長を中心として全校生徒の自主性や協力性、創造性等の力の伸長をめざしたものとなるよう実施します。保護者の皆様の参観もできますので、感染症予防対策にご協力いただきながら、ご参観・応援をよろしくお願ひいたします。



◇赤組応援団長:小柳美月さん

私は今年の体育祭が中学校生活最後の体育祭になります。そして、今年の体育祭はコロナの影響で今までとは違った体育祭でもあり、一つひとつの時間がとても大切だと考えています。また、修学旅行などの多くの行事もなくなってしまったため、この体育祭が唯一の他の学年と関わることができ、思い出作りができる大きな行事だと思います。だからこそ、一つひとつ全力で取り組み、笑顔で楽しく終わることができる体育祭にしたいです。

◇青組応援団長:森 すみれさん

私が頑張りたいことは2つあります。1つ目は、組全体で団結することです。今年は全員で一つのことをする機会があまりなく、団結することがなかったからです。体育祭で、組全体が一つになれるようにみんなを引っ張っていきたいです。2つ目は、みんなの思い出に残るような体育祭を作っていくことです。どの学年も楽しみにしていたことがなくなってしまうので、この体育祭が思い出に残るようにしたいです。

□赤組応援団長:小磯 諒さん

私は「団結」という言葉を目標に体育祭に取り組んでいきたいと思ひます。具体的に言うと、みんなで心を一つにして体育祭に臨めるようにするというこゝです。今年度の体育祭は1年の中でも最も大きな行事だと私は思うので、しっかりと学校全体が一つにまとまり、全員の思い出に残る体育祭にしたいと思ひます。みなさん、ご協力お願ひします。

□青組応援団長:鈴木友瀬さん

私は、今回の体育祭を3年間で一番思い出に残るものにしたいです。今年度は、コロナウイルスの影響でたくさん予定されていた行事がなくなりました。そんな中、体育祭の形は変わりますが実施できるようになったので、応援団長として学校や組全体をまとめ、みんなで心を一つにして体育祭を成功させられるように頑張ります。そして、最後は皆が笑顔で終わり、最高の体育祭だったと言えるよう頑張ります。

三者面談・教育相談が始まります



保護者の皆様には別紙お知らせいたしました通り、10月20日から30日に3年生は三者面談、1,2年生の皆さんは基本的に生徒と担任との二者面談(希望に応じて三者面談も実施)を行います。今年度はコロナウイルス感染症による休校等で学習や生活面等で心身の健康を保つことが特に難しい状況にあるとも言われています。また、友人関係での悩みやSNS等のネット上でのトラブルなども増えてきています。学校といたしましても、日頃からの学校生活のあらゆる場面での積極的な声掛けや教育相談の充実を今年度の重点目標に掲げていますので、この機会にさらに充実した学校生活を送れるよう取り組んでいきたいと思ひます。

また、本校には年間を通して相談室での教育相談を進めています。千葉県教育委員会より専門のスクールカウンセラーが、我孫子市教育委員会より心の相談員が派遣されています。担任または養護教諭が窓口となり保護者の方との日程調整を行っていますので、気軽にご相談ください。本校では個別適応教室も設けて、段階的に教室での学習ができるような教室もあります。

○相談室利用可能日 水・・・・・・ 10:00～17:00 担当 橋本スクールカウンセラー
火木金・・・ 10:00～14:00 担当 小川心の相談員

今月の表彰報告

現在、各部とも葛南新人大会が開かれ、熱戦が繰り広げられています。コロナ感染症予防のため、保護者の皆様の応援も控えていただくというお願いをしている会場が多く、ご協力をいただきありがとうございます。

○陸上部 ○男子共通走高跳 優勝 2年 徳田智哉さん 記録1 m 70 cm

(出場選手中、ただ1人1 m 70 cm をクリアし、73 cm もあと一步のところという大変冷静で果敢な試技でした。県大会出場のための標準記録を突破し、10/3に行われる県大会に出場します。)

○男子共通走幅跳 第7位 2年 竹本大夢さん 記録5 m 19 cm

地域の方々からの支援を受けて・・・

今年も布佐平和台自治会悠悠クラブの皆様から心をこめて作られたぞうきんを寄贈していただきました。これは毎年本校へ寄贈していただいているもので、各クラスや学年、部活動等で校舎内外の美化活動はじめ多くの場面で活用させていただきます。本当にありがとうございます。また、第1回の小中・地域連携学校運営協議会も新たに発足し小中一貫教育の推進や地域連携について話し合われました。詳細については学校HPでもお知らせいたしますので、どうぞご確認ください。



合唱祭についてのお知らせ・・・11/20(金)本校体育館で生徒のみ、保護者の方の参観なしで行います

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の合唱祭については感染症予防を最優先として、予定していた印西市文化ホールを本校体育館に変更して実施いたします。また、保護者の方の参観は無しとさせていただき、ビデオ撮影をしたものを3年生は卒業のDVDの中に収録し、1.2年生については学年の保護者会で上映させていただくことに代えさせていただきたいと思っております。3蜜の回避を図るために換気やソーシャルディスタンスを考慮した時に、印西市文化ホールでの実施や保護者や地域の皆様をお招きしての実施は回避すべきと判断いたしました。また、発表曲も自由曲の1曲のみといたします。現在、音楽科の授業では、リコーダーの練習は体育館通路等の風通しの良い半屋外で行ったり、合唱の練習も互いに向かい合うことなく、多目的室等の広い場所で互いの距離が近くならないように行うなどの配慮をしながら少しずつ実施しています。何卒、ご理解のうえご協力をお願いいたします。



○10月・11月の予定>

10月1日	木	葛南駅伝大会
5日	月	1,2年前期テスト(国理社)12年給食なし・3年生は通常(火123456給食あり)完全下校17:15
6日	火	〃 〃 (数・英・技術家庭)12年給食なし 〃 (木12345 給食あり)
7日	水	生徒活動優先日 委員会Ⅱ
8日	木	全校歯科検診
9日	金	1,2年生テスト返却日 3年生進路保護者会14:10～
12日	月	完全下校17:00
16日	金	体育祭(午前中) 給食あり (雨天時予備日10/19)
20日	火	三者面談・教育相談開始～30日(29日はなし) 尿検査2次
22日	木	3年実力テスト ノー活動デー
26日	月	完全下校16:45
29日	木	生徒会引継ぎ集会
30日	金	1,2年生通知票(この日に前期通知票を渡します)
11月4日	水	3年第2回定期テスト(社・理・英) 1,2年生は水123456
5日	木	〃 〃 (数・国・家庭) 1,2年生は木12345
6日	金	我孫子市教育研究会のため3時間授業(給食なし) 9日(月)生徒活動優先日:委員会Ⅱ
18日	水	生徒活動優先日 委員会Ⅰ
20日	金	合唱祭(午後:布佐中体育館 ※今年度は生徒のみ 保護者・地域の方の参観はありません)